

群馬ヤクルト パートナーシップBOOK

2022年度版



地域の皆様と協力して持続可能な社会の実現をめざします



人も地球も健康に

Yakult

群馬ヤクルト販売株式会社

群馬ヤクルトを取り巻くSDGsの状況

エス ディー ジー ズ

SDGsって何？

(Sustainable Development Goals)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGsとは持続可能な社会を実現するために国連で合意された世界共通の17の開発目標のことです。193の国と地域が2030年までの目標達成を目指しています。



17の開発目標の
アイコンは世界共通です

今、地球は経済や社会、環境などさまざまな問題を抱えており、2030年までに地球が2つ必要になるといわれています。SDGs達成のためには各国・地域の政府だけでなく、企業・市民社会などが協力することが不可欠です。

エス ディー ジー ズ

ヤクルト本社とSDGs

人も地球も健康に

Yakult

ヤクルト本社は人が健康であるためには、人だけでなく水、土壌、大気などすべての地球環境、動植物も健康でなければならないと考え「人も地球も健康に」をコーポレートスローガンに制定しています。事業活動を通じて「世界の人々の健康に貢献する」ことを目指しています。

●ヤクルト本社の特に関係が深い5つの目標



世界各地で活躍するヤクルトレディ



プラスチック資源の循環
福島工場のエコステーション



工場でのCO₂削減。岡山和気工場屋上に設置された太陽光発電



JAXAとの宇宙での共同研究
国際宇宙ステーション(ISS)

群馬ヤクルトとSDGs

SDGsは世界規模の目標ですが、一人一人ができることをみんなで協力して取り組むことが重要です。未来の子ども達が健康で過ごせる様に、群馬ヤクルトでは、従事者一人一人が協力してSDGs達成に取り組めます。



● 群馬ヤクルトの特に関係の深い6つの目標



目標 3 すべての人に健康と福祉を
健康に役立つ商品の販売・お届けを通じて、一人でも多くのお客さまの健康に貢献します。



目標 4 質の高い教育をみんなに
子どもから高齢の方まで、さまざまな世代に正しい健康情報を提供します。



目標 5 ジェンダー平等を実現しよう
ヤクルトスタッフの労働環境を整備し、女性が活躍する社会の実現を目指します。



目標 8 働きがいも経済成長も
事業の生産性を高めつつ、従事者がいきいきと働く会社であり続けます。



目標 11 住み続けられるまちづくりを
地域社会の一員として、住みよいまちづくりに貢献します。



目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう
関係する皆様とのつながりを大切に、目標達成を目指します。

TOPIC

経営理念とSDGs

群馬ヤクルトの使命は、一人でも多くのお客さまに「健康と美」をお届けすることです。創業時の想いや活動指針を信条にまとめ20年以上前から全従事者で取り組んでいます。ヤクルトの信条にはSDGsに通じる想いが込められています。

群馬ヤクルトの信条

- 一、お客さまの健康と美しさに寄与することが私たちの使命である。
一人でも多くの人にご利用していただき満足と幸せを提供しよう。
- 一、お客さまから支持されるサービスを提供しよう。
そして地域社会に心をこめて貢献しよう。
- 一、仕事を通じ人生の夢と目標を達成しよう。
互いに協力し全員が幸せになろう。



2030年SDGs達成に向けて 環境への取り組み事例

● 貢献するSDGs



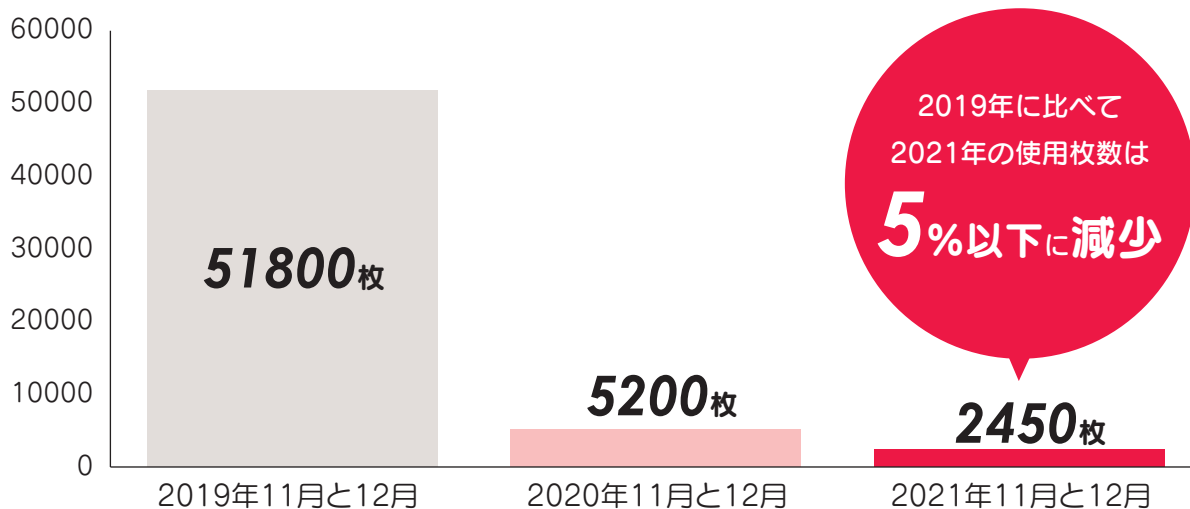
事例1 ビニール袋

使用枚数削減と環境に配慮した バイオマス素材のビニール袋に変更

お客さまのご理解をいただき、ビニール袋使用削減の協力と有料化を行いました。職場からの持ち帰りなど、必要な場合にのみ使用しています。素材も有害ガスが発生しないバイオマス素材のものに変更しました。2019年に比べて2021年の使用枚数は5%以下に減少しました。



● ビニール袋の使用削減状況 ●



事例2 プラスチックストロー

2品目から付属のストローを廃止

2022年3月中旬から順次、Newヤクルト5本パックとNewヤクルトカロリーハーフ5本パックに付属されていたストローが廃止されました。年間約420万本の削減となる見込みです。



対話による健康のお届け

ヤクルトのこだわりは直接商品をお届けすることです。対話を通じて自分の言葉で価値をお伝えしています。公民館や病院、高齢者施設、学校、こども園など幅広い年齢にあった健康教室も実施しています。



● 県内 33カ所の拠点「サービスセンター」に約690名のスタッフが所属し日々元気にお届けしています

● 貢献するSDGs



健康や教育への取り組み多くの方々の関わりにおいてSDGsに貢献します。

ヤクルトスタッフによる住宅へのお届け



店頭での紹介



お取引先への納品・提案



健康教室・食育教室の開催



健康教室



企業にて従業員の方へ



美肌教室



学校でのおなか元気教室



未就学児向けの食育劇

TOPIC

「食育推進活動優良表彰」を受賞

群馬ヤクルトは 2011年から食育活動に取り組んでおり 2015年に群馬県から表彰いただきました



社会貢献活動

地域活動への協力や社会貢献活動に取り組んでいます。地域のことをよく知るヤクルトスタッフは、地域の見守りの担い手として期待されています。

※ 2020年度以降は新型コロナウイルス感染症対策として中止・延期になっている事業があります



● サッカー Jリーグザスパクサツ群馬を応援しています

● 貢献するSDGs



住みよいまちづくり・地域づくりに協力することで SDGsに関わっています。

税に関する取り組み



e-Taxによる確定申告の広報協力。2013年より毎年。2022年で9回目。



学校での租税教室の開催。講師に社員を派遣。(2020年2月)

福祉ヤクルト



1995年より群馬県を通じて福祉施設へ寄贈。

東北復興支援



売上の一部を赤十字を通じて寄付。(毎年3月、2021年で7回目)

TOPIC

群馬県警察本部と「安全・安心パトロール協定」の締結

2005年から群馬県警と防犯協定を締結しています。児童の登下校時の安全パトロールや事件・事故の防止に協力しています



認知症への取り組み



オレンジカフェ(認知症カフェ)への会場提供。(太田市宝泉地区)



認知症サポーター講習を全従事者が受講。

地域の見守りについて感謝状をいただきました



渋川警察署より
2021年6月



高崎市等広域消防局より
2020年1月



渋川広域消防署本部より
2019年5月



渋川警察署より
2018年8月

働きやすい環境づくり 健康経営の実現

従事者がやりがいをもって働けるよう、労働環境の整備に取り組んでいます。

※ 2020年度以降は新型コロナウイルス感染症対策として中止・延期になっている事業があります

● 貢献するSDGs



健康経営、教育研修、女性の活躍、働きがいなどで SDGsに関わります。



2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ブライト500

● 経済産業省が設置する健康経営優良法人
2022に認定されました

キッズルームの整備



県内17カ所に設置。専任の保育士が預かります。

救急講習の受講



小児 MFA
保育士が専門的な講習を受講。



消防士による講習。全従事者が受講・訓練して、もしもの時に備えています。

防災訓練



お届け車両の配備



リース車両を使用できます。500台以上が利用されています。

スポーツに取り組む社員のサポート



ぐんまマラソンに協力・有志で参加。(毎年 11月)



女子ソフトテニス



女子サッカー 群馬県 1部リーグ
バレイストラレディース

TOPIC

本店で集団献血を実施



年に 2回夏と冬に本店で献血バスに来ていただき集団献血を実施しています。コロナ禍で献血協力者や献血バスの運行が減っているそうです。献血を通じて医療及び社会への貢献を続けていきます。

TOPIC

教員の長期研修に協力



現役の学校の先生を研修員として迎え、1年単位で業務を体験していただいています。
(2016年から 6名受け入れ)

協定に基づいた県市町村との取り組み

各自治体と連携した具体的な取り組みを紹介します。

※ 2020年度以降は新型コロナウイルス感染症対策として中止・延期になっている事業があります



●おなかを守るヒーロー、ヤクルトマンは様々なイベントに登場します

●貢献するSDGs



健康、福祉、教育、まちづくり、人との関わり、共助などの SDGsに関わります。

県内各市町村とも協定を結び協力しています (2022年4月現在15市町村)



●「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」



●「地域社会づくり包括連携協定」



●「連携協力に関する協定」



●「連携協力に関する協定」



●「地域社会づくり包括連携協定」



●「地域社会づくり包括連携協定」



●「連携協力に関する協定」



●「地域社会づくり包括連携協定」



●「地域社会づくり連携に関する協定」



●「地域づくり連携協力に関する協定」



●「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」



●「地域づくり連携協力に関する協定」



●「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」



●「包括連携に関する協定」



●「地域社会づくり連携協力に関する協定」



●「地域づくり連携協力に関する協定」

TOPIC

群馬県と「健康づくり推進連携協定」を締結



群馬県(2016年 12月)
県庁にて締結

群馬県では、県民の健康寿命の延伸が重大な課題になっています。群馬ヤクルトは群馬県と健康協定を結び、県と協力して全国一の健康県実現のため、今後も力を尽くします。



「健康づくり推進連携協定」の4項目

- 1.健康寿命の延伸県民運動「ぐんま元気 (GENKI) の5か条」の推進に関すること
- 2.従業員や家族への健康づくりの積極的な推進に関すること
- 3.県が実施する健康づくり推進のための普及啓発活動等への参加・協力に関すること
- 4.その他、県民の健康づくり推進に向けた積極的な提案に関すること

前橋市



前橋・渋川シティマラソンに参加・協力。(毎年 4月)



10月の前橋まつりの「だんぺえまわり」に毎年総勢100名以上で参加。



健康フェスタ inまえばしにブース出展。(毎年 10月)

玉村町



小学生向け避難所体験講座に協力 (2021年 7月 8月)

渋川市



健康ウォーキング春季交流会を開催 (2021年 4月)

富岡市



富岡マラソンに協力、給水場を設置。(毎年 12月)

榛東村



しんとう村づくり祭りに参加。(2019年 10月)

安中市



子ども食堂フェスタ in 安中に協力。(2019年 8月)

高崎市



小学生のまちたんけんに協力 (2021年 5月)

沼田市



秋季・春季火災予防運動での広報活動



沼田市によるラジオ体操講習会に協力。(2019年 7月)

TOPIC

群馬県がん対策連携企業に登録

がん検診の普及啓発や受診勧奨に取り組んでいます。



最 新 事 例

共助社会の担い手をめざして

事例1 ヤクルト子ども食堂の開催

GENKI★食堂

温かい食事をみんなで楽しく食べる地域交流の場として、ヤクルトのキッズルームを活用したこども食堂を開催しています。地域の皆さまや、様々な企業のご理解、ご協力をいただきながら、2021年10月より毎月第4土曜日に実施しています。



事例2 高齢者施設への寄贈

県内約70施設へ ヤクルトを提供

2021年度においても高齢者施設は感染症対策やワクチン接種等心労が大きく、多忙を極めていました。職員、入居者の皆さまの健康増進の応援として6月に県内約70施設にNewヤクルトを無償提供しました。



事例3 世界遺産富岡製糸場を応援

チケット裏面への 応援広告掲載

富岡製糸場は県内初の世界遺産です。群馬ヤクルトでは2021年から、入場チケットの裏面に応援広告を掲載しています。



事例4

乳酸菌自動販売機の設置

ホワイトボードで健康へのお役立ち

お取引様のさまざまなニーズに応えられる自動販売機のオペレーションに努めています。ホワイトボードを活用しQ&Aなどのコミュニケーションや、健康情報の発信を行っています。



事例5

ラジオでの情報発信

ラジオスマイルレポート放送中

2016年からエフエム群馬で、ヤクルトスタッフが週代わりで出演するラジオ番組を放送中です。毎週火曜日の朝の9時32分から5分間、ヤクルトスタッフならではの地域情報をお伝えしています。



事例6

前橋保健所への寄贈

職員さんにメッセージ付きYakult1000を進呈

2022年2月、新型コロナウイルスの対応業務にあたる前橋保健所の職員さんに、手書きのメッセージを添えてYakult1000を進呈しました。当時は感染症対策に留意して、職員の皆さまに直接お渡しすることができました。



事例7

社会福祉協議会と連携協定

「地域社会づくり包括連携協定」を締結

2022年2月群馬県社会福祉協議会と共助社会の実現をめざして協定を締結しました。地域の見守りや健康教室などを通じて、地域の福祉課題解決健康づくりに貢献します。



人も地球も健康に
Yakult



イラストレーター紹介

●真塩喬子（ましお きょうこ）

前橋市出身。本やパンフレットの挿絵、保育園などの絵画指導を行う。2019年はアートミュージアム赤城、高崎スズランなどで個展を開く。群馬ヤクルトの給食用トラック3台にイラストが使用されている。



群馬ヤクルト販売株式会社



0800-700-8960

受付時間／9:00～17:00（土・日曜日・祝日は除く）

〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-7-1

群馬ヤクルト
Instagram

